

事業区分
金銭給付

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名	福祉ボランティア育成・活動支援				所管	福祉部	
						福祉課	
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始] 平成 2 0 年度	[終了予定]	- 年度		
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	社会福祉法人に対する助成の手続きに関する条例・同施行規則			
	事業対象	社会福祉協議会					
	事業目的	社会福祉協議会の健全な発展と区内社会福祉事業の育成強化を図る。					
	事業内容	社会福祉協議会が実施する以下の福祉ボランティアの育成や活動支援等に係る事業費の一部を助成する。 ・在宅福祉サービス事業 ・ボランティア活動推進事業 ・権利擁護センター事業					
	委託の有無	なし	委託内容				
	補助金の有無	都					
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度
	活動指標	助成事業数	事業	3	1	1	1
	成果指標	はつらつサービス協会会員数	人	270	223	222	250
		災害ボランティア登録者	人	107	77	83	89
	決算額	(単位：千円)			1,848	1,782	1,905
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			833	1,278	1,275
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	0
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			1,848	1,782	1,905
		総経費			2,681	3,060	3,180
	財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
一般財源(区負担額)			2,681	3,060	3,180		
前回評価から改善した事項	はつらつサービス協会会員の増加に向け、各種イベント等において積極的な事業紹介や会員募集を行った。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	4	社会福祉協議会による地域に根差した福祉活動の必要性は一層高まっている。				
	効率性	3	各種事業は充実した内容で実施されており、効率性に特段の変化はない。				
	手段の適切性	3	ボランティアの主体性を重んじながら、情報提供やネットワークの構築、啓発の機会を設けるなどし、必要な支援を行っている。				
目的達成度	3	各種事業を継続的に実施することで、ボランティア活動の意義や重要性についての理解や参加の促進に努めたことにより、災害ボランティア登録者数の増加等につながった。					
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
社会的要請を鑑み、ボランティア活動についての普及啓発や活動環境の向上に引き続き取り組む必要がある。					維持		